

築地市場跡地に係る埋蔵文化財試掘調査委託（3築—2）

業務報告書

令和4年3月

東京都第一市街地整備事務所
国際文化財株式会社

調査概要

件名 築地市場跡地に係る埋蔵文化財試掘調査委託（3築一2）
調査地点 東京都中央区築地五丁目地内（図1）
調査面積 試掘坑① 115 m²
 試掘坑② 30 m²
 試掘坑③ 171 m² 合計 316 m²
調査期間 現地調査 令和3年10月1日～12月24日の内、36日間
 整理作業 令和4年1月5日～3月1日の内、36日間
立会者 中央区教育委員会総括文化財調査指導員 [REDACTED]
調査機関 国際文化財株式会社
 現場代理人 : [REDACTED]
 主任調査技師 : [REDACTED]
検出遺構 試掘坑① レンガ基礎1基
 試掘坑② 検出遺構なし
 試掘坑③ 護岸跡1基
出土遺物 計193点 52,207.0g
(磁器60点、陶器28点、炻器4点、土器2点、瓦10点、土製品1点、自然遺物8点、土類1点、近代遺物57点、レンガ22点)
調査方法 1. 各試掘坑は、中央区教育委員会（仲光 克顕）（以下、区教委という）の事前承認のもと、都市整備局立ち合いのもと設定した。試掘坑範囲は、埋設管、既存構造物等により、当初計画範囲を適宜変更した。（図2）。
2. 表土以下の掘削は、区教委の指示のもと、重機で行った。遺構検出は人力で精査し、遺構調査後、写真及び測量記録を行った。
3. 平面図及び断面図の図化はトータルステーションを使用した。座標及び標高（Tokyo Peil）は公共基準点（3級No.1205006）を中心とし、他道路上の補助点を使用した。なお、図中に示した方位は真北を示し、数値は標高値である。
4. 出土遺物は表土、盛土などの層位種別ごとに取り上げた。
5. 写真記録は35mm一眼レフカメラ（リバーサルフィルム・モノクロフィルム）、デジタル一眼レフカメラを使用した。
6. 本報告内で呼称する方位については、調査区北東側に延びる晴海通りを北方とし、本文中ならびに写真撮影方向に用いた。なお、平面図に記載する方位は真北を指す。

調査日誌抄録

令和3（2021）年
10月1日 調査開始、資機材搬入
10月4日 基準点測量
10月5日 試掘坑位置設定

10月8日	アスファルト切断
10月11日	試掘坑③アスファルト・碎石除去開始
10月14日	試掘坑③表土掘削開始
10月18日	試掘坑③1段目遺構検出及び記録作業
10月27日	試掘坑③2段目遺構検出及び記録作業
11月4日	試掘坑③中央区教育委員会立会確認
11月30日	試掘坑①遺構検出及び記録作業
12月1日	試掘坑①平面面計測作業
12月2日	試掘坑②アスファルト・碎石除去開始
12月6日	試掘坑②表土掘削開始
12月7日	試掘坑①・②中央区教育委員会立会確認
12月9日	試掘坑①下層確認及び計測作業
12月10日	試掘坑①埋め戻し開始
12月14日	試掘坑②平面面計測作業及び埋戻し開始
12月22日	撤収工開始
12月24日	調査終了

地理的・歴史的環境

調査対象地は、江戸時代初期は江戸前島の東側にあたり、絵図によると海中であったと思われる。築地界隈は、明暦の大火灾（明暦3年（1657））後、埋め立てられたとされ、17世紀中葉以降、町人地として始まり、18世紀には武家屋敷地、明治時代には官有地となっている。

「御府内沿革図書」によると、延宝年中（1673～1681）から天和年中（1681～1684）にかけて南小田原町、川口町の町人地となっている。隅田川、築地川に面する角地にあたる当該地は、岸に「カシ」とみえ、漁業の水揚げがなされていたと推測される。元禄年中（1688～1704）には、御米蔵へと姿を変え、南西側には「稻荷」とある。波除稻荷神社の起源は万治2年（1659）とされるが、おそらくとも元禄年間以降は社殿などが建立されていたものと考えられる。

18世紀初頭以降は武家屋敷とへかわり、当該地は享保年中（1716～1736）には森川出羽守や稻葉若狭守、有馬内膳、辻新之丞などの拝領屋敷となっている。文化5年（1805）になると佐倉藩主堀田相模守の拝領地となり、文政13年（1830）には紀伊殿となっている。その後、安政2年（1855）には旗本、御家人などの剣術、槍術、砲術といった武芸の演習地である講武所であったが、文久2年（1862）には軍艦操練所となっている。

明治元年（1868）になると築地ホテル館が建設され、開業している。しかし、5年後の明治5年（1872）に火災により焼失した。その後は海軍省の造兵廠工場などとなり、大正12年（1923）に関東大震災を契機に海軍省は転出し、築地側を隔てた南側の敷地は日本橋から魚市場が移転し、築地市場となっているが、調査対象地は昭和12年（1937）の段階でも学校用地となっている。

築地川は昭和39年（1964）の東京オリンピック開催にあたり、その前後の期間に掛けて順次埋め立てられ、一部は首都高速1号線へと変貌した。昭和62年から平成2年の国土地理院空中写真をみると、波除稻荷神社の周辺には築地川の痕跡がみてとれる。

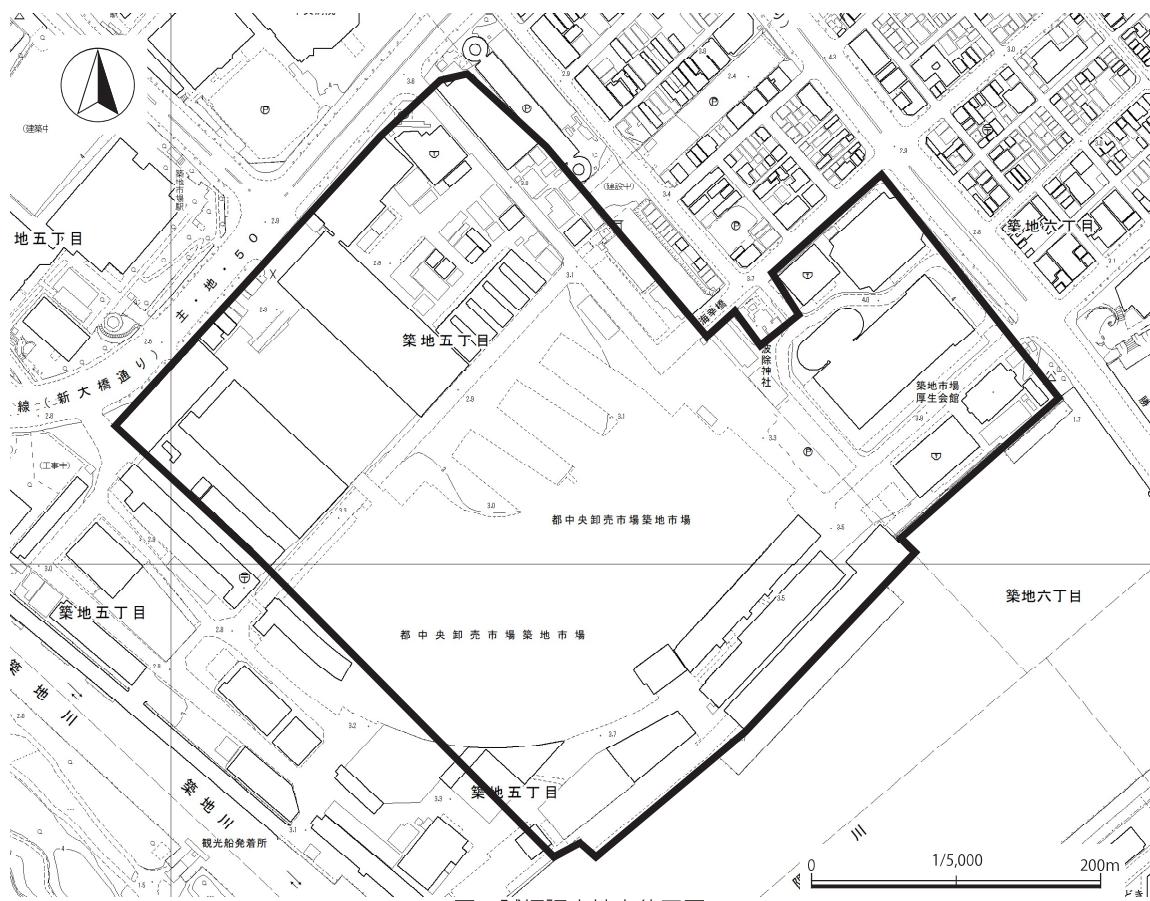


図1 試掘調査地点位置図

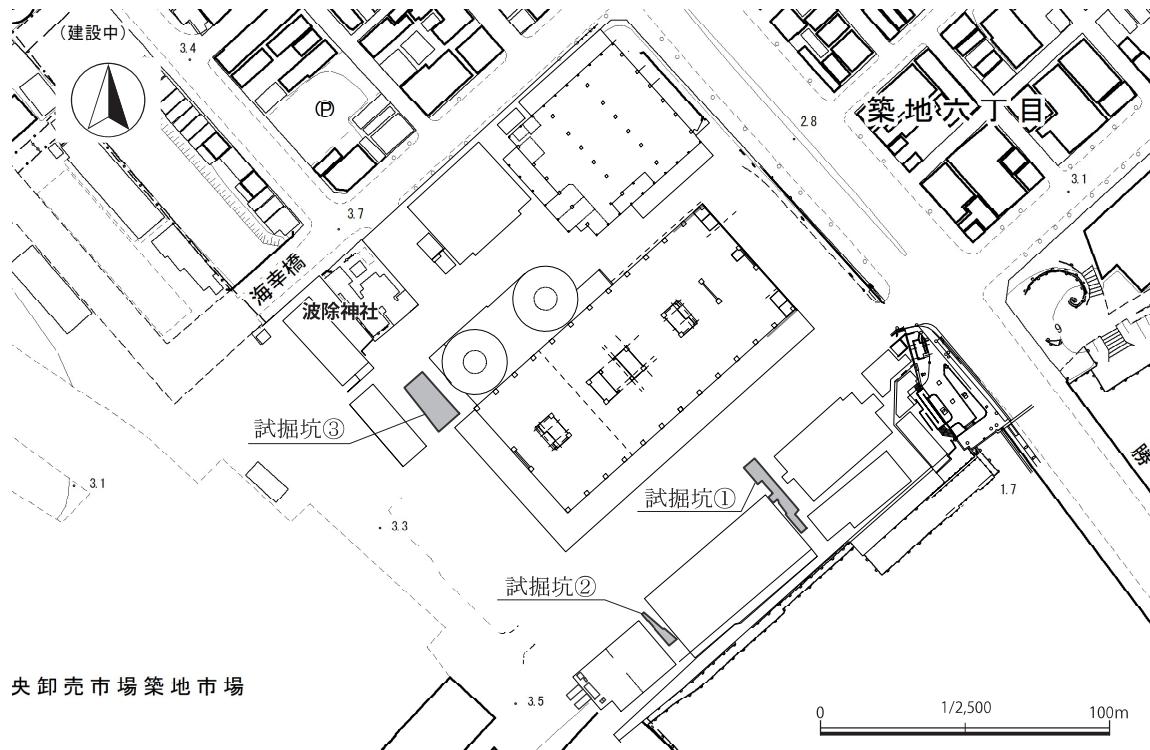


図2 試掘坑配置図

「東京都 2,500 デジタル白地図 2015」に測量図を合成



『武州豊嶋郡江戸〔庄〕図』寛永9年（1632）

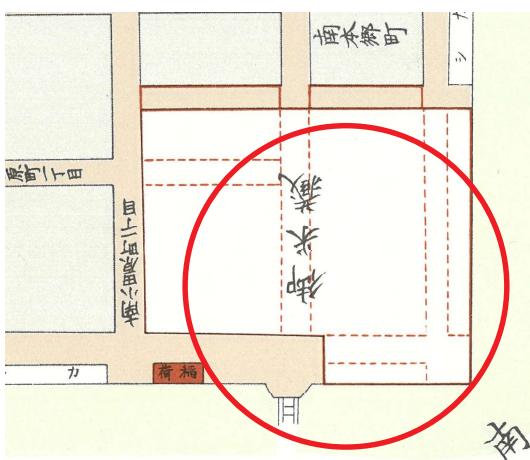
国立国会図書館デジタルアーカイブ蔵



「沿革図書」延寶年中（1673-1681）



「沿革図書」天和年中（1681-1684）



「沿革図書」元禄年中（1688-1704）



「沿革図書」享保年中（1716-1736）



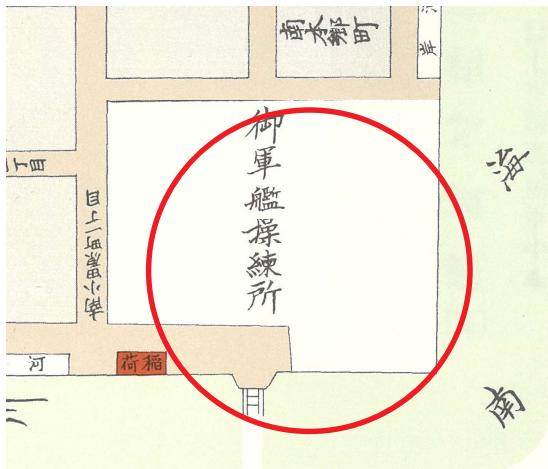
「沿革図書」文化5年（1805）



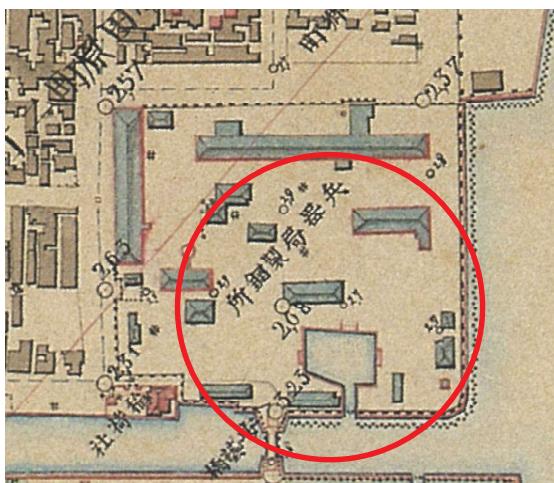
「沿革図書」文政13年（1830）



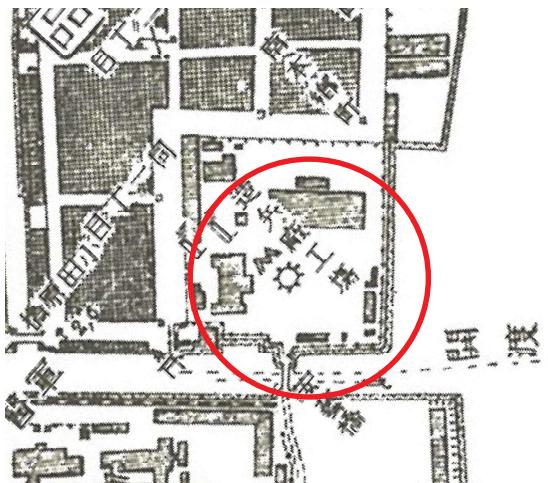
「沿革図書」安政2・4年（1855・1857）



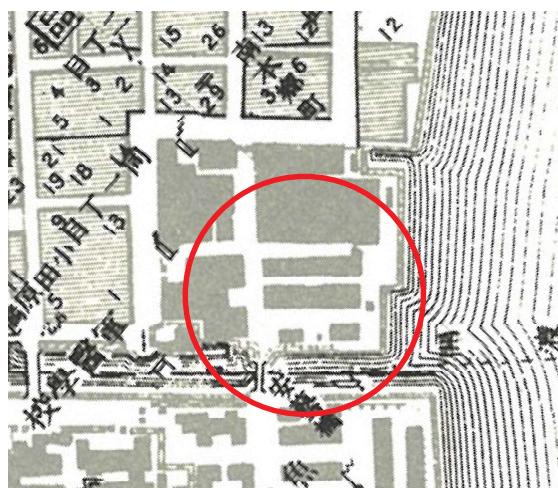
「沿革図書」文久2年（1862）



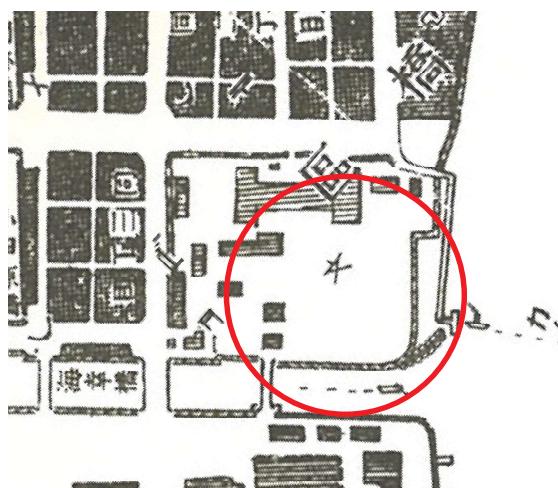
『五千分一東京図測量原図』明治17年（1884）



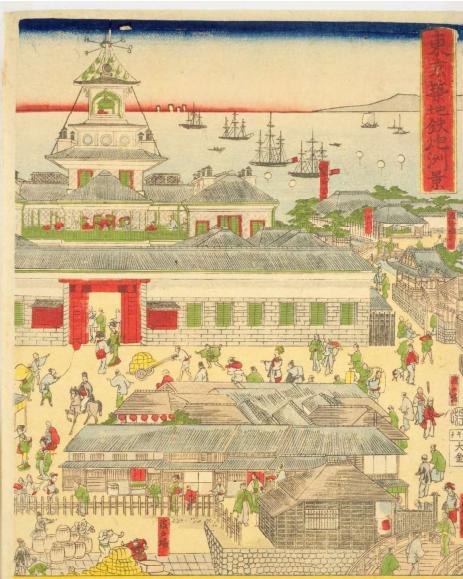
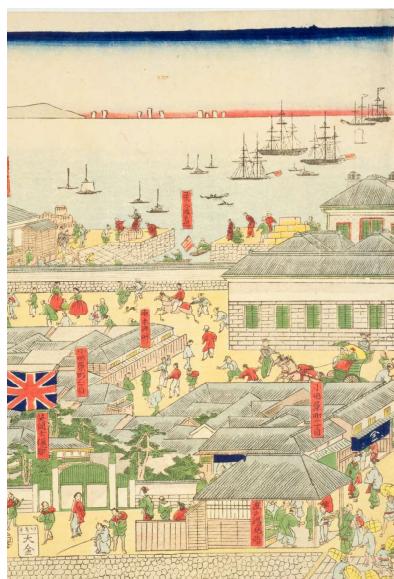
『東京1万分1地形図集成』明治42年（1909）



『東京1万分1地形図集成』大正14年（1925）

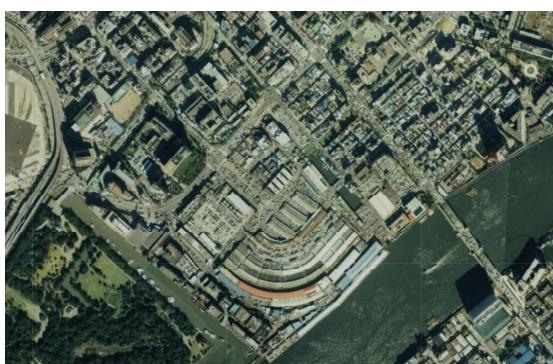


『東京1万分1地形図集成』昭和12年（1937）



『東京築地鉄砲洲景』（明治2年）

国立国会図書館デジタルアーカイブ蔵



国土地理院空中写真
昭和62-平成2年（1987-1990）



国土地理院空中写真（左写真的拡大）
昭和62-平成2年（1987-1990）

調査成績

試掘坑①

調査面積	115 m ²
検出遺構	レンガ基礎 1 基
出土遺物	点数 59 点、重量 44,697.0 g (磁器 6 点、陶器 4 点、炻器 1 点、土器 1 点、瓦 9 点、自然遺物 4 点、近代遺物 12 点、レンガ 22 点)

調査所見

現地の地表面標高（以下、GL という）は 3.4m～3.6m を測り、マンホールおよび地下施設のピットが残存し、それ以外の大部分はアスファルトで覆われる。大部分を占めるアスファルトの平均的な標高 3.5m をここでは GL とした。アスファルトおよび路盤材の直下は表土であり、埋設管の埋土とともにインフラ関係の埋設管が複数検出された。そのため、GL-1.3m までの確認となり、大部分が埋設管埋土の砂または客土のローム土である。また、北壁のみの確認であるが、GL-0.4m でアスファルト舗装の残骸が検出されており、旧築地市場の舗装面と考えられる。

試掘坑西側からはレンガ基礎と思われる 1 号遺構が GL-1.2m から検出された。レンガ基礎は表面がモルタルで化粧されており、レンガ建物の基礎の一部を為していると推測される。検出位置から 0.6m 下には床盤状の底面が広がるが、確認範囲が狭小のため、その規模は不明である。1 号遺構の内部から周囲にかけて、廃棄されたレンガが多量に検出された。検出したレンガの中には刻印が認められるものが複数あり、刻印は「銀杏」、「扇」、カタカナの「ナ」・「ル」など 14 種、計 22 点、40,342 g を数える。

試掘坑①では一部、埋設管を取り除いた上で、深掘掘削をトレンチ状に 2 か所設定した。西側のトレンチ 1 は GL-3.5m (T.P. = 0.00m) まで掘削した。層位に変化はみられず、トレンチ下部まで一連の覆土と考えられる。東側のトレンチ 2 は、築地市場と隅田川を隔てる旧護岸が想定される位置に該当する。調査前の現況では当該位置に隅田川と平行して並ぶコンクリートブロックが確認され、下部構造が残存していることが予想された。しかし、コンクリートブロックは地表面のみであり、その下部には上述したように埋設管が敷設されている。トレンチ 2 は GL-1.1m から掘削し、GL-3.3m まで確認した。GL-1.7m 付近からは径 0.3m 大の土团を含む砂層が確認された。

出土遺物は、表土からは肥前系及び瀬戸・美濃系磁器や瀬戸・美濃系陶器中碗など、18 世紀中葉以降の遺物とともに、昭和期と思われる近代陶磁器類が出土している。トレンチ内からは肥前系磁器中皿や肥前系陶器中鉢、江戸在地系土器火鉢などが出土しているが、コカ・コーラやファンタのガラス瓶やサッポロビールの 1000ml ビール瓶（サッポロびん生ジャイアンツ昭和 53 (1978) 年以降）なども出土している。

試掘坑全体にわたり、埋設管等による攪乱が顕著であり、表土およびトレンチ内からは江戸時代の陶磁器類が出土しているが、昭和後期の空缶なども共伴しており、攪拌されたか、客土として持ち込まれたものである可能性が考えられる。しかし、一方で試掘坑西側では刻印のあるレンガが使用されたレンガ基礎が検出されている。

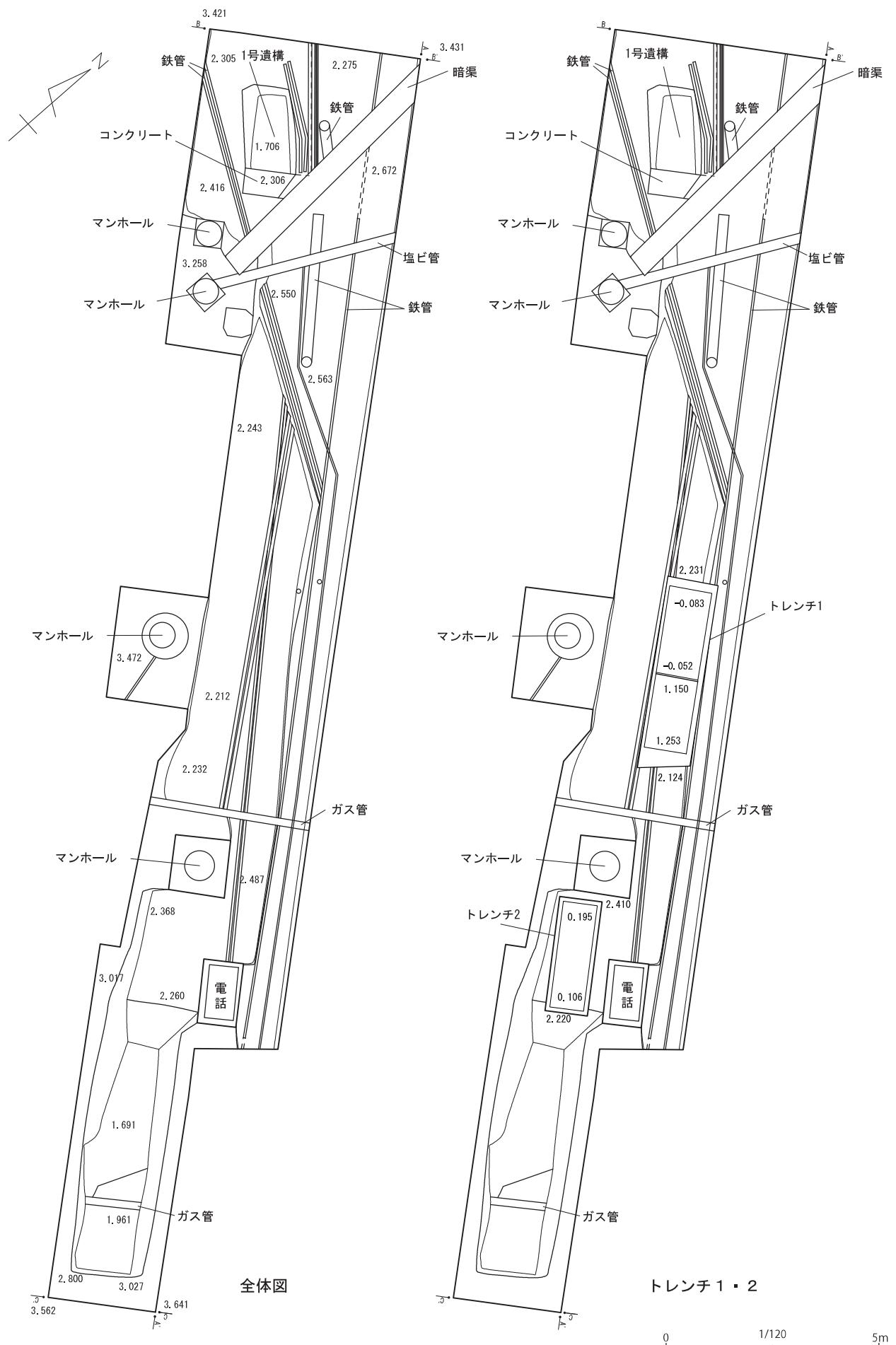
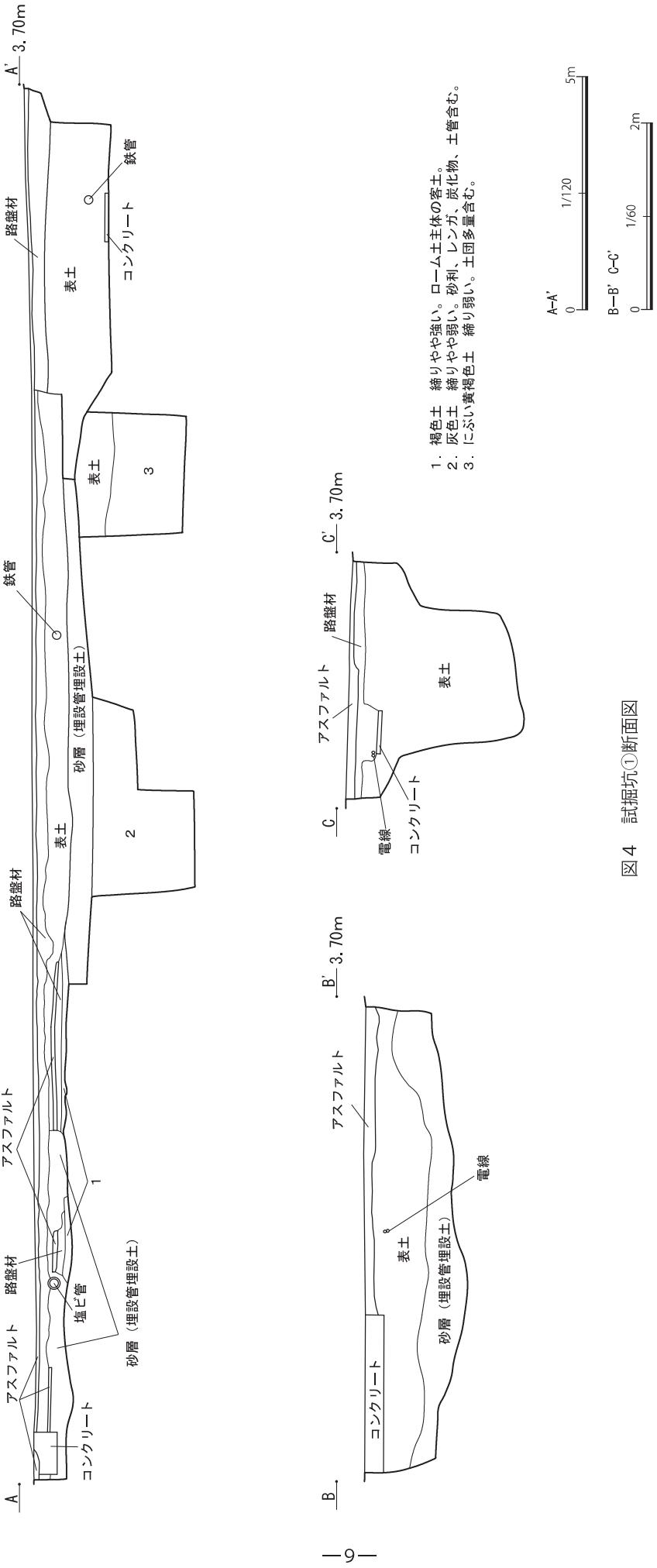


図3 試掘坑①平面図



試掘坑②

調査面積 30 m²

検出遺構 検出遺構なし

出土遺物 点数 31 点、重量 1,369.0 g

(磁器 10 点、陶器 4 点、瓦 1 点、自然遺物 1 点、近代遺物 15 点)

調査所見

現地の GL は 2.8 ~ 3.3m を測り、隅田川に向かってスロープ状に下る立地である。試掘坑南側は擁壁に接しており、その擁壁のアンカーパーツが試掘坑内に延び、試掘坑南側および西側は攪乱される。よって試掘坑内で攪乱の影響が少ない北東側を主体とし、かつ平均的な標高 3.1m を GL として以下に表記する。

GL - 0.4m で大谷石の石列が検出された。大谷石は長方形を呈し、東西方向に 1 列が検出された。表土上に直接敷設されており、大谷石より下位の GL - 1.2m ではコンクリート基礎や埋設管が検出されていることから、現代に帰属すると考えられる。

2 段目はコンクリート基礎の間を 2 か所トレンチ状に掘削を行い、GL - 2.3m で遺構検出を行った。その後、西側でのみ深掘削を行い、トレンチ 1 として GL - 3.5m までを確認した。表土下の GL - 1.2m で土团を含む砂層を確認した。試掘坑①の土团を含む砂層と概ね同レベルであり、一連の可能性が示唆される。層中からは後述する空缶が出土している。GL - 1.9m からは暗灰色粘質土が検出された。木片や樹皮がわずかに含まれ、荒縄が出土している。トレンチ 1 の東側は GL - 2.0m までを確認した。GL - 1.5m 付近からは間知石が 2 点検出されたが、出土状況から原位置を成していないと考えられる。

出土遺物は表土からは瀬戸・美濃系磁器端反中碗や磁器戸車、近代の陶磁器類を中心とした近代遺物が出土している。上述した土团を含む砂層からは三矢サイダー、サントリーオレンジの空缶や、賞味期限が明示されたバヤリースの空缶（1977 年 12 月、1978 年 1 月）が出土している。深掘削したトレンチ 1 内からは「養命酒」の陽刻のあるガラス瓶や、銅板転写染付による磁器碗類などの近代遺物、荒縄のほか、肥前系磁器、瀬戸・美濃系磁器もわずかであるが共伴して出土している。

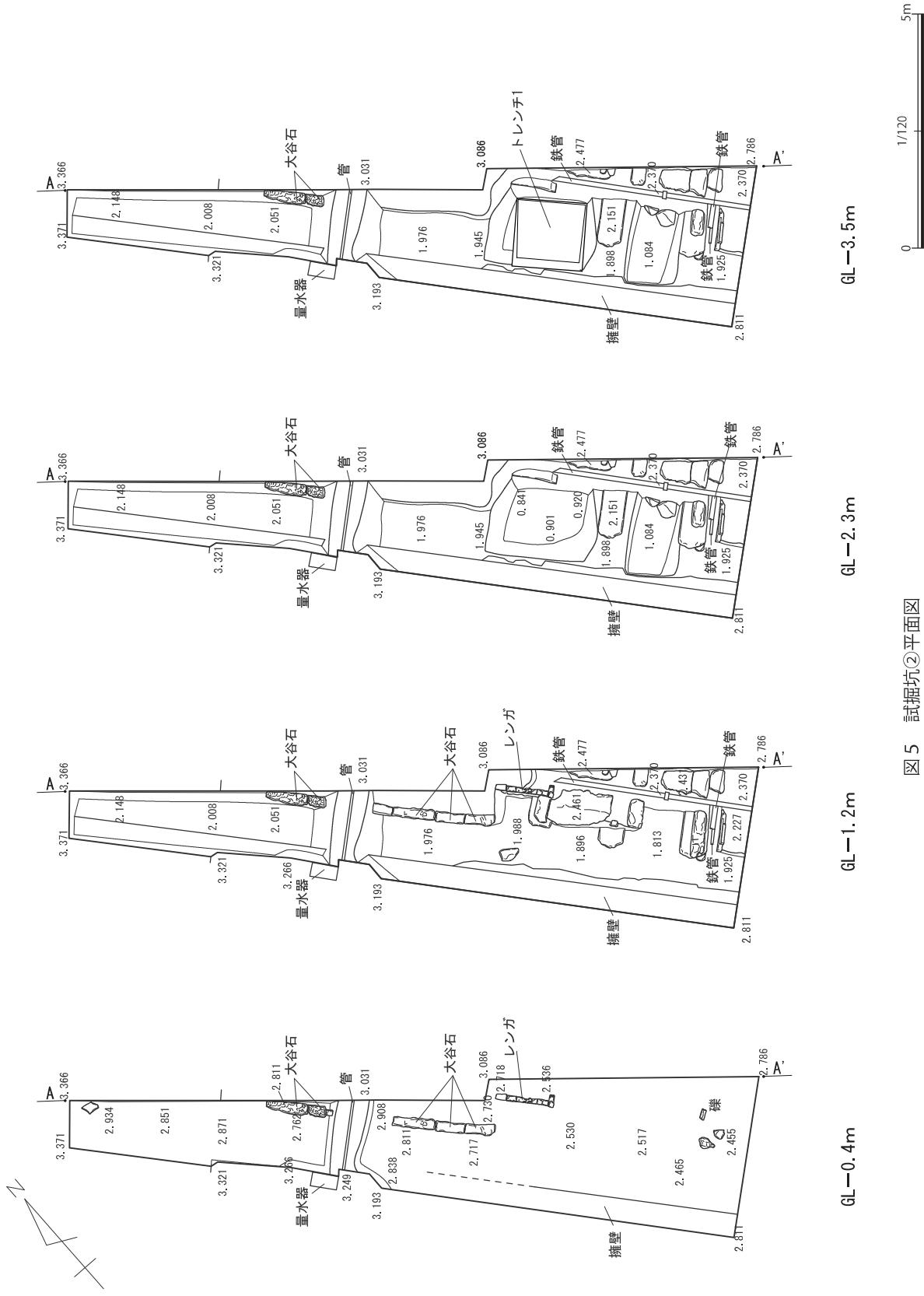


図5 試掘坑②平面図

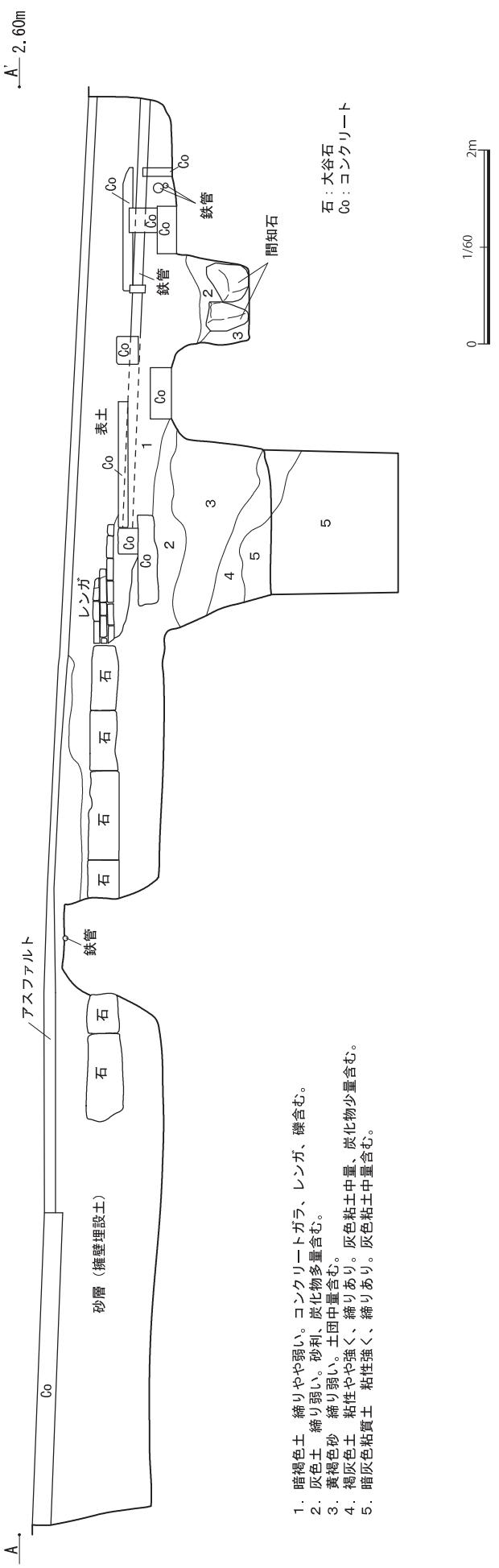


図6 試掘坑②断面図

試掘坑③

調査面積 171 m²

検出遺構 護岸跡 1 基

出土遺物 点数 103 点、重量 6,139.0 g

(磁器 44 点、陶器 20 点、炻器 3 点、土器 1 点、土製品 1 点、自然遺物 3 点、土類 1 点、近代遺物 30 点)

調査所見

現地の GL は 3.5m を測り、全面アスファルト舗装された平坦地である。GL-1.1m で試掘坑北側からコンクリートの護岸跡が検出された。コンクリートの護岸の内側には間知石が確認され、現代において間知石の護岸の手前にコンクリートの護岸擁壁を設けたものと考えられる。間知石の上には黄色のスプレーの痕跡が残存し、同レベルでマンホールが検出されていることから、旧地盤に該当すると考えられる。工事図面や試掘坑③の西側に位置する波除稻荷神社の位置から検出された護岸跡は旧築地川の左岸に該当する。コンクリートの護岸は一部が解体されており、その部分から護岸内部を観察したところ、上面で確認した間知石の下位に連続して間知石が残存し、少なくとも 3 段を確認した。その下部にあたる GL-2.1m では天端石状の礫の上面のみを確認した。

試掘坑中央からは GL-1.9m (T.P.=1.6m) で東西に延びるヒューム管が検出されており、築地川の埋め立てにあたり、敷設されたものと考えられる。掘削は深掘掘削のトレーナー内も含め、GL-3.5 m (T.P.=0.0m) まで確認したが、すべて埋め立てに由来する埋土と考えられる。工事断面図によるところ、河床は A.P. 約-4m で、T.P. 換算で約-5.1m となる。

出土遺物は GL から GL-1.45m までと、それ以下で取り上げた。肥前系磁器小碗や、瀬戸・美濃系磁器、瀬戸・美濃系陶器擂鉢、高田徳利、底部に墨書のある京・信楽系小碗、明石・堺系炻器擂鉢、江戸在地系かわらけ小皿など、近世の陶磁器類も出土しているが、昭和期と思われる磁器湯飲み碗、タイル、便器、ガラス瓶など近代遺物も出土している。出土遺物を上位と下位で分けて取上げたが、時期差は認められず、18 世紀後葉から近現代までの遺物が出土した。上述したように築地川埋め戻しに由来する客土であることを考慮すると、客土に混入して持ち込まれた可能性が考えられ、試掘坑③周辺の時代を示す遺物とは考えにくい。

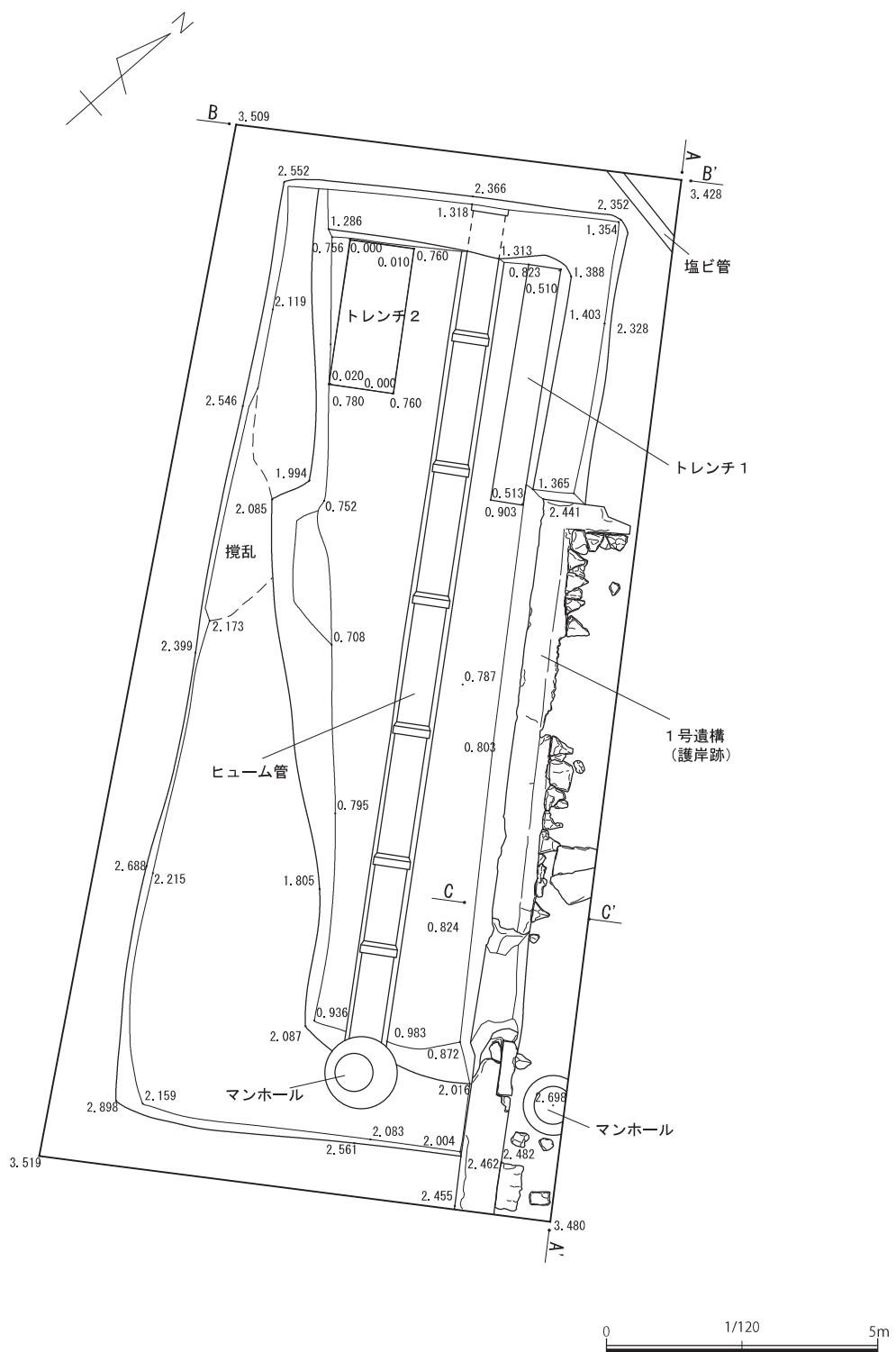


図 7 試掘坑③平面図

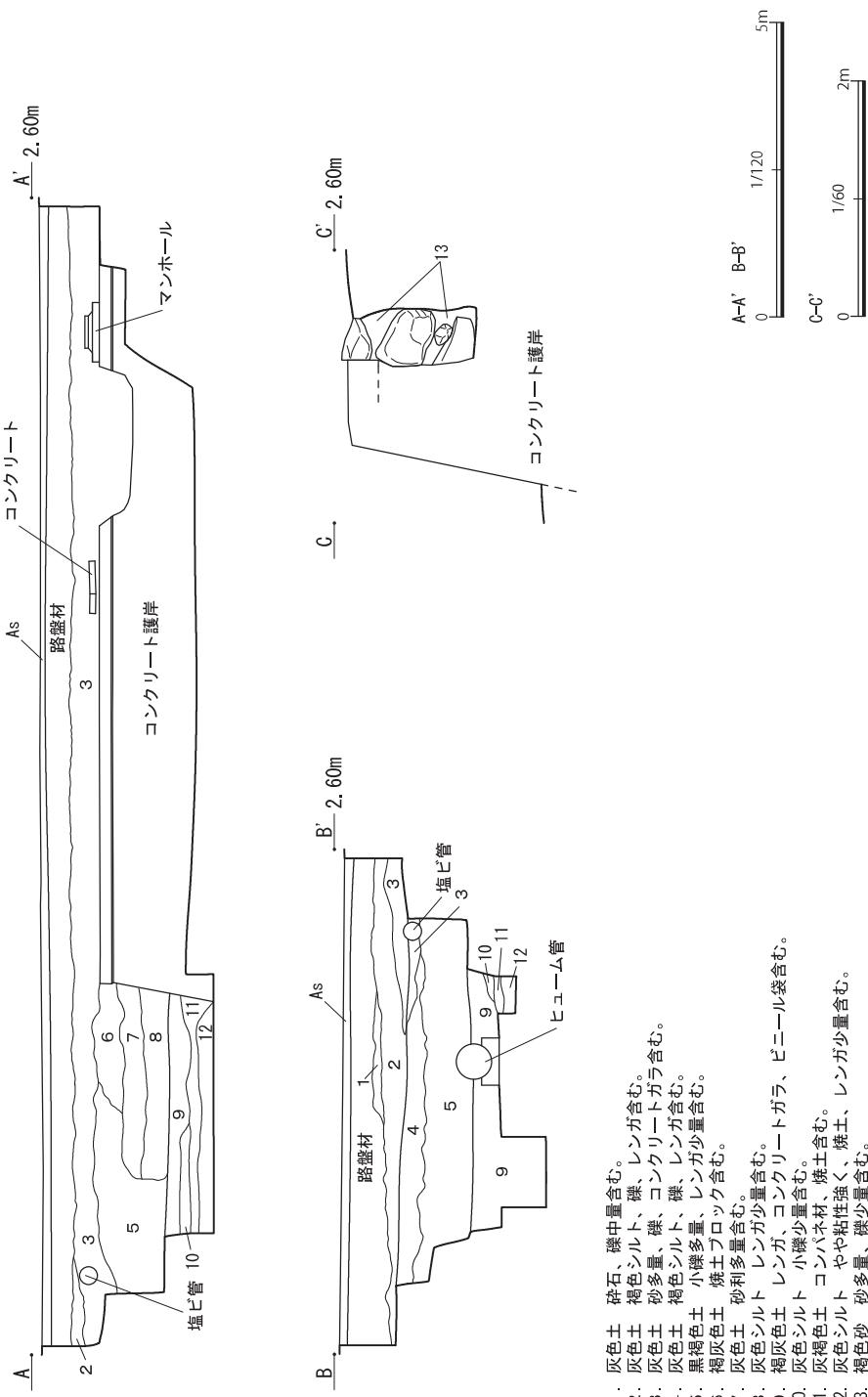


図8 試掘坑③断面図

表1 出土遺物集計表

		磁器	陶器	炻器	土器	瓦	土 製品	金屬 製品	木 製品	骨角 製品	ガラ ス	石 製品	自然 遺物	土類	江戸 以前	近代 遺物	レンガ	合計
試 掘 坑 ①	表土・搅乱	点数 重量	40	2 56												5 132	22	11 228
	1号遺構	点数 重量																
	トレンチ1	点数 重量	1	1 287												7 2,482	22	22 40,342
	トレンチ2	点数 重量	40															9 4,0342
	合計	点数 重量	6	4 99	1 50	1 50	9 26	9 1,185								4 31	17 1,320	2,809
試 掘 坑 ②	表土・搅乱	点数 重量	3	99												6 290	6 9	9 389
	トレンチ1	点数 重量	7	4 87	1 45											1 18	9 803	22 980
	合計	点数 重量	10	4 186	1 45											1 18	15 1,093	31 1,369
試 掘 坑 ③	表土～ GL-1.45m	点数 重量	9	8 140	1 181	1 302	1 11									1 8	12 7	33 809
	GL-1.45～ -2.3m	点数 重量	35	12 641	2 981	1 50		1 13								2 56	18 2,940	1,458 4,681
	合計	点数 重量	44	20 781	3 1,162	1 352	1 11									3 64	1 7	30 3,749
	出土総点数		60	28 1,066	4 1,559	2 402	10 37	1 1,212	1 13	0 0	0 0	0 0	0 0	8 113	1 7	57 0	22 7,456	193 40,342
	出土総重量																	52,207



試掘坑① 1号遺構検出（西から）



試掘坑①全景（西から）



試掘坑①全景西側（西から）



試掘坑①全景東側（西から）



試掘坑①トレンチ1全景（東から）



試掘坑①全景（西から）



試掘坑①トレンチ2掘削位置（南から）



試掘坑①トレンチ2全景（南から）



試掘坑①北壁土層断面（南西から）



試掘坑①北壁土層断面（南東から）



試掘坑①北壁土層断面中央部分（南から）



試掘坑①北壁土層断面拡大（南から）



試掘坑①東側南壁土層断面（北東から）



試掘坑①西側南壁土層断面（北から）



試掘坑①東壁土層断面（西から）



試掘坑①西壁土層断面（東から）



試掘坑①北壁土層断面 2段目（南から）



試掘坑①トレンチ1 土層断面（南から）



試掘坑①トレンチ1 土層断面（南から）



試掘坑①トレンチ2 土層断面（南から）



試掘坑①トレンチ2出土土団



試掘坑①旧護岸推定痕跡（南から）



試掘坑①作業状況



試掘坑②1段目検出全景（東から）



試掘坑②大谷石検出（南から）



試掘坑② 2段目全景東側（南から）



試掘坑② 2段目全景（東から）



試掘坑② 3段目全景（南東から）



試掘坑②西側北壁土層断面（南から）



試掘坑②北壁土層断面東側（南から）



試掘坑②東側北壁土層断面（西側）（南から）



試掘坑②東側北壁土層断面（東側）（南から）



試掘坑②東壁土層断面（南西から）



試掘坑②トレンチ1 土層断面（南から）



試掘坑② 3段目全景（南から）



試掘坑② 3段目全景（南から）



試掘坑③GL-1.45m 全景（東から）



試掘坑③GL-2.00m 全景（東から）



試掘坑③GL-2.60m 全景（東から）



試掘坑③北壁土層断面（南から）



試掘坑③南壁土層断面（北から）



試掘坑③東壁土層断面（西から）



試掘坑③西壁土層断面（東から）



試掘坑③トレンチ1全景（西から）



試掘坑③トレンチ2全景（南から）



試掘坑③北壁土層断面（南西から）



試掘坑③トレンチ2土層断面深掘り（南から）



試掘坑③1号遺構（護岸跡）検出（南から）



試掘坑③ 1号遺構間知石検出（北から）



試掘坑③ 1号遺構擁壁裏 間知石検出（東から）



試掘坑①表土・攪乱出土遺物



試掘坑①トレンチ 1 出土遺物（1）



試掘坑①トレンチ 1 出土遺物（2）



試掘坑①トレンチ 2 出土遺物



試掘坑②表土・攪乱出土遺物



試掘坑②表土出土遺物



試掘坑②表土出土遺物 缶
(賞味期限 1978年1月)



試掘坑②表土出土遺物 缶
(賞味期限 1977年12月)



試掘坑②トレンチ 1 出土遺物（1）



試掘坑②トレンチ 1 出土遺物（2）



試掘坑③表土～GL-1.45m出土遺物



試掘坑③GL-1.45～-2.3m出土遺物



試掘坑①号遺構出土
「★」



試掘坑①号遺構出土
「○○」



試掘坑①号遺構出土
「扇」



試掘坑①号遺構出土
不明字



試掘坑①号遺構出土
小判形



試掘坑①号遺構出土
「銀杏」A



試掘坑①号遺構出土
「銀杏」B



試掘坑①号遺構出土
「銀杏」C



試掘坑①号遺構出土
「銀杏」D

